

第3回箕面市障害者就労検討会議概要

1. 日時

令和7年6月2日（月）午後9時半から午前11時20分

2. 場所

箕面市役所本館2階 特別会議室

3. 内容

下記のとおり

（1）事務局より以下について報告

①前回会議の概要を共有

②優先調達について

- ・優先調達しない一番の理由である「納期・数量」のミスマッチ対策として、「計画的な見通しをもった発注」が考えられる。現在、消耗品・役務とも各室ごとに発注しているが、総務部においては昨年度より、部単位での事務用品の一括管理・一括発注を開始し、結果的に物品手配に係る事務の軽減や、従来各室ごとに保管していた物品の過剰在庫の圧縮、消耗品予算の2割程度削減につながったことを報告。
- ・加えて、前回会議時に分析に至っていなかった役務の優先調達状況を報告。市内障害者事業所が受注した業務として、金額ベースでは、施設の緑化や公園・道路の花壇管理、資源ごみ選別がその多くを占めていた。他方で、受注しなかった業務については、契約名称等の情報の範囲において、優先調達が不可能と思われるもの、詳細不明で判別できないもの、優先調達の可能性があると思込まれるものに分類して報告。
- ・医療保健や電算、設備保守等は専門性が高く、資格が求められる等のことから優先調達は難しいと考える一方、清掃や除草などの役務は優先調達の可能性があることを報告。

③新ビジネス創出について

- ・前回会議で報告した障害者が活躍する事業事例のうち2事業者について、現地視察にて確認したそれぞれの事業内容や事業運営の課題等を報告。
- ・視察先の事業者について、A事業者は就労継続支援A型事業所として一定数の人員が存在した上で事業転換を行ったケース、B事業者は小規模体制で新事業を開始したものであるが、A事業所では働く障害者の確保、品質・進捗管理の課題、B事業所では収益化の課題が見受けられ、両者とも支援者の負担も考える必要があるものであった。

(2) 構成員による議論

①優先調達について

- ・総務部の一括管理について、他部局での実施可能性を検討してもらいたい。
- ・小中学校は数量・納期のミスマッチにより優先調達の実施が少ないことが課題と前回会議で報告があったが、学校現場の発注実態を調査し、数量・納期の課題を解決できる手法を検討されたい。
- ・優先調達しなかった役務のうち、清掃や除草については受注可能性があると報告を受けたものの、業務をひとまとめで発注しようとする、市内障害者事業所からの手が挙げりにくいのが現状であるため、「これならできる」ことを見つけられるよう業務を細分化し、複数事業所で受注できるよう単価設定するなどの工夫も必要であろう。
- ・優先調達のとりこぼしを受発注に繋げるには、業務切り出しがポイントとこれまでの議論の中で挙がっていたが、そうであれば工夫すべきは発注者側にある。指定管理者の選定などにおいて役務に係る優先調達を選定要件に組み込むなど、発注者側に業務を切り出す工夫が強く働くしくみについて考えることもひとつではないか。

②新ビジネス創出について

- ・収益化が課題とあったが、福祉サービスを利用しながら働く場合は収入だけではない働く機会の提供という価値がある。一方で、視察の報告から、事業者がビジネスの収益のみで自走するという高い目標をもった上で、あらゆる障害者が働くことができる新ビジネスを考えることは難しいということも分かった。
- ・福祉の専門家がビジネス内容を練るのは難しい面があるため、市内障害者事業所と別に事業を運営するリーダーの養成をめざすのも一つ。中小企業の資源を活かし、福祉的な視点をもちあわせ、第二創業のようなことを考える機会やソーシャルビジネスに対する応援があってもいい。

以上